

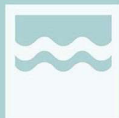
災害の特徴と大雨時の注意点

お住まいの地域によって想定される災害は異なります。災害の特徴や注意すべきポイントを知っておくことが重要です。

大雨時には
河川増水と土砂災害
に注意が必要だよ!



洪水



台風や前線の停滞による大量の雨で河川が増水し、堤防の決壊により浸水被害をひきおこす

河川水位の情報をより早い段階で把握するため、**ライブカメラが設置**されています。

詳しくはこちら(川の防災情報/国土交通省)
<https://www.river.go.jp/index>



注意すべきポイントなど



周囲の土地よりも低い地域では浸水が深くなる傾向がある。また、岡山市ではこれまでも**河川増水時に内水はん濫をひきおこしている**。



大雨による増水時は、用水路と道路との境目が分かりにくく、避難路としては危険。**用水路のほとんどは柵や蓋掛けがなく、日常的にも転落のおそれがある**。



過去に、台風による集中豪雨などにより、土砂災害が発生したことがあります。**土砂災害警戒区域内に住まれている方は早急に避難が必要!**

土砂災害



大雨や地震による地盤のゆるみにより、特に山間部において山崩れや土石流、がけ崩れといった災害が発生すると、道路の寸断や家屋被害をひきおこす

防災情報の入手先

スマートフォン、携帯電話、テレビ、インターネットなどから防災情報を入手する方法を知っておきましょう。



災害から身を守るために
正しい情報を入手しよう

<p>テレビ</p> <p>①NHK総合にチャンネルを合わせてリモコンの「d」ボタンを押す ②防災・生活情報を選択する</p>	<p>ラジオ</p> <p>岡山シティFM「79.0MHz」(レディオMOMO)への割り込み放送を実施します</p>	<p>岡山市防災メール</p> <p>①右のQRコードを読み取る ②空メールを送信する ③サイトに従い登録する</p> 
<p>避難所の混雑状況</p> <p>避難所の混雑状況を発信します。右のQRコードを読み取って接続してください</p> 	<p>岡山市公式SNS</p> <ul style="list-style-type: none"> Twitter「@okayama_city」 LINE「岡山市公式LINE」 Facebook「桃太郎のまち」 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山市ホームページ 緊急速報メール 防災行政無線 広報車・消防団による広報など

※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

緊急時の連絡先 ※災害時のみ開設

岡山市災害警戒(対策)本部※		086-803-1600	
北区本部※	086-803-1850	中区本部※	086-901-1643
東区本部	086-944-5100	南区本部	086-902-3500
安否確認がしたい 災害用伝言ダイヤル 171 / 災害用伝言板 web171 (https://www.web171.jp)			



わが家の防災メモ

あらかじめ
決めておいてね



家族の避難場所

家族の集合場所

(避難場所で会えなかった場合)

家族の連絡先

家族の名前	生年月日	携帯電話番号	血液型	会社・学校などの電話番号

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水など大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、「声の伝言板」(安否情報)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他地域の人々との間で、伝言の録音・再生を行うことができます。※携帯電話各社でも同様のサービスを提供しています。

体験利用日

毎月1日15日、正月三が日、
防災週間(8/30~9/5)
防災とボランティア週間(1/15~1/21)

災害用伝言ダイヤル「171」

伝言の録音方法 伝言の再生方法

171にダイヤル

ガイダンスが流れます。

録音の場合 1

再生の場合 2

ガイダンスが流れます。

被災地の方の電話番号

※電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

災害用伝言板 web171

インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する伝言板です。

※携帯各社の伝言板に登録されている伝言を確認できます。



<https://www.web171.jp>
または「web171」で検索

伝言に登録する被災地の方などの電話番号を入力

説明に従い 登録/確認

自分の居場所の危険に合わせた避難

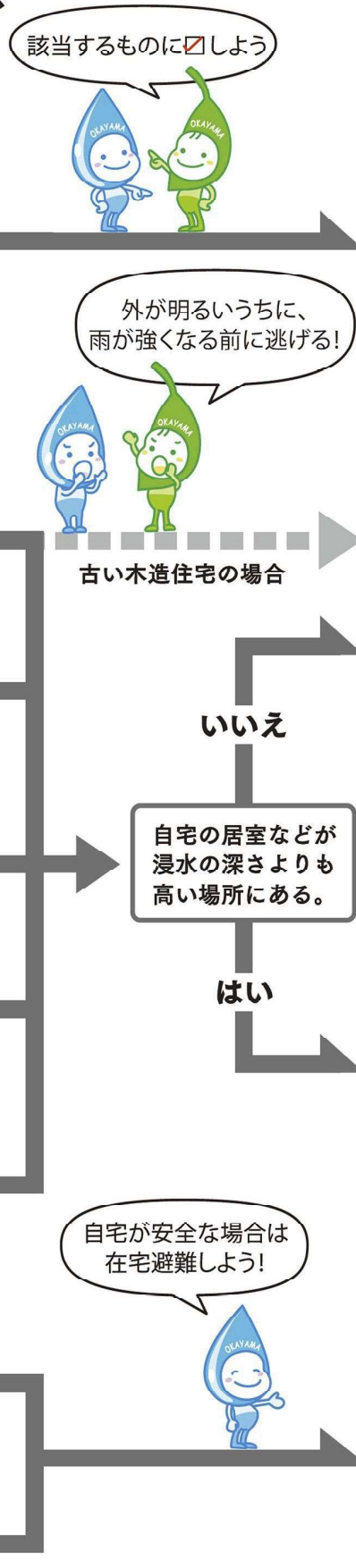
裏面のハザードマップを見て、
自分の居場所の危険を知る

土砂災害警戒区域

山沿いは要注意！
土が多く、水を含み斜面が突然崩れる
土砂災害が想定される区域

マップの色/浸水の深さ

5m以上 2階屋根以上 浸水	
3~5m未満 2階軒下まで 浸水	
2~3m未満 2階床下まで 浸水	
1~2m未満 1階軒下まで 浸水	
0.5~1m未満 床上浸水 未満	
0.5m未満 1階床下まで 浸水	
0.5m未満 1階床下まで 浸水	
浸水しない	



避難先を決める

自宅以外の安全な場所へ

避難先は避難所だけではない！
避難所以外の避難先もご検討いただき、
感染症対策にご協力ください。

避難先の候補に☑しよう

<input type="checkbox"/> 知人・親戚の家
<input type="checkbox"/> ホテル・旅館（事前予約して宿泊）
<input type="checkbox"/> 車中泊（安全な場所へ早めに避難）
<input type="checkbox"/> 避難場所・避難所

安全な場所へ逃げる！

避難場所 車中泊

知人・親戚の家

ホテル・旅館

避難所

**今いる建物の上階
自宅で安全確保**

高い場所へ逃げる！

自宅で安全確保

安全な場所に留まる

事前の準備

自宅を離れる際の注意点

非常持出品を備えよう 避難先で2~3日間過ごす時に必要な持出品

非常持出品は、災害の危険が迫り自宅から避難するとき最初に持ち出すものです。

非常持出袋などにまとめ、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。



非常持出品リスト(例)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性ペン・ノート) | <input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクトレンズ | <input type="checkbox"/> 防寒保温シート |
| <input type="checkbox"/> ペットボトルの水(500mlサイズ) | <input type="checkbox"/> LEDヘッドライト・懐中電灯・乾電池 | <input type="checkbox"/> 洗面用具(歯みがき・洗顔セット・タオル大小など) | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん・ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> 通帳・免許証・健康保険証・お薬手帳など | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ、除菌シート | <input type="checkbox"/> 防寒着・雨カッパ |
| <input type="checkbox"/> 印鑑(通帳とは別々に保管) | <input type="checkbox"/> FM・AMラジオ | <input type="checkbox"/> 医療品(薬・消毒液・ばんそうこうなど) | <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 |
| <input type="checkbox"/> 現金(小銭も含めて) | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> アイマスク・耳栓 |
| <input type="checkbox"/> 家・車の合鍵 | | | <input type="checkbox"/> 体温計 |

避難の時は足元注意!特に用水路!

- 道路が冠水すると、危険箇所の見分けがつかなくなります。
- 浸水時の避難は、棒などで足元に注意を払いながら移動しましょう。
- 車での避難は、用水路がある道は避けましょう。

歩行が難しくなる水位の目安
※流れが速い場合などは状況が異なる。

男性……水位 70cm
女性……水位 50cm
子ども…水位 20cm



地下は危険!!

短時間の大雨により、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開かなくなったり、階段を上がれなくなり、閉じ込められる危険があります。

一刻も早く
地下から避難!



避難先では3つの密を避けましょう!

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。自宅以外へ避難する場合、必要になる携行品を準備しましょう。また避難前には検温し、体調を確認しましょう。



3つの条件がそろう場所がクラスター発生リスクが高い

ペットと避難するために

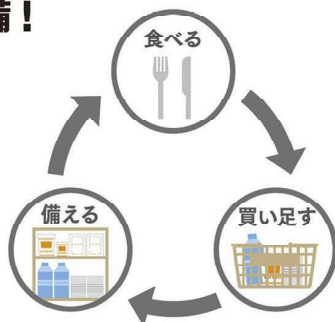
家族の一員として避難生活を一緒にするため、**日頃からの「しつけ」**が大切。ケージの中での生活や家族以外の人や他の動物に馴らしておこう。

- 所有者明示 (首輪/マイクロチップ)
- 避難用品・備蓄品の準備
- 健康管理・ワクチン接種

在宅避難の備え

自力で3日間を過ごせる準備! ローリングストックで備蓄

買い置きのものから定期的に食べて、食べた分を買い足し、備蓄していく方法。常に品目、量を保ちながら、多めに備えているものを日常生活の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。



備蓄品 ※復旧までの数日間を支える

- 食料品 缶詰やレトルト食品など 非常食3日分を含む7日以上を備蓄。
- 水 飲料水は大人一人あたり1日3ℓが目安。最低3日分、できれば7日分は用意。
- 燃料 カセットコンロ、予備のボンベなど。
- 工具 ロープやスコップなど。
- その他 ウエットティッシュ、タオル、簡易トイレ、毛布、ラップ、食器類など。

6 マイ・タイムライン&避難スイッチ

避難のタイミングを決めて、災害時にとるべき行動を整理する



- 災害時にとるべき行動を考え、下の表「マイ・タイムライン」を完成させよう。
- 自主的に避難するタイミング「避難スイッチ」を決めて、下の表に記入しよう。

警戒レベル	LEVEL 1・2 避難行動を確認	LEVEL 3 危険な場所から高齢者等は避難!	LEVEL 4 危険な場所から全員避難	LEVEL 5 命の危険 直ちに安全確保	
避難情報	<p>気象庁が発表 避難に備える</p> <p>ハザードマップやマイ・タイムラインで自分がすべき行動を確認。</p>	<p>岡山市が発令 高齢者等避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難に時間がかかる方とその支援者 (高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児がいるご家庭) ● 土砂災害警戒区域に住んでいる方 ● 水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる方 <p>上記の方は速やかに避難を開始しよう。その他の方は避難の準備を整えておこう。</p>	<p>岡山市が発令 避難指示</p> <p>災害のおそれが高い状況。危険な場所にいる人は速やかに避難する。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動しよう。</p>	<p>岡山市が発令 緊急安全確保</p> <p>すでに災害が発生、または切迫している状況。命を守るための最善の行動をとろう。</p>	
気象情報	<p>雨 大雨・洪水注意報 災害がおこるおそれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の増水 ・ 道路の冠水 ・ 家の床下浸水のおそれ 	<p>大雨・洪水警報 (警戒レベル3相当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の更なる増水によるはん濫 ・ 道路の冠水 ・ 家の床上浸水のおそれ 	<p>はん濫危険情報 (警戒レベル4相当)</p> <p>はん濫危険水位</p> <p>河川はん濫のおそれがある水位</p>	<p>大雨特別警報 (警戒レベル5相当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数十年に一度の大雨 ・ 洪水や土砂など大災害発生のおそれが極めて高い状況 	
避難スイッチ	<p>避難するタイミングを決め、ペンで○を塗りつぶそう</p>				
マイ・タイムライン	<p>記入例</p> <p>気象情報の確認</p> <p>河川の水位をインターネットで調べる</p>	<p>避難先&避難経路を再確認</p> <p>非常用持出袋の確認 貴重品管理</p>	<p>避難開始!</p> <p>アレーカー・ガス・元栓を閉める</p>	<p>避難先に到着</p> <p>実家の両親に電話で状況説明</p>	<p>避難したことを知人や親戚に伝える</p> <p>情報収集</p>

マイ・タイムラインとは?

「洪水や土砂災害が発生しそうな、危険な天気になりそうだ…!!」という状況で、いざ避難の準備をしようと思っても、何から手をつければ良いのかわからない…。そんな時に備え、防災に対する自分の行動を時系列で整理した計画表が「マイ・タイムライン」です。

避難スイッチとは?

家庭によって避難のタイミングや逃げ方は様々。「自分はこのようにおこったら避難しよう」「こういう情報を手に入れたら絶対に逃げ出そう」といった自主的に避難を判断するきっかけとなる状況・情報が「避難スイッチ」です。

すでに災害が発生している状況

自然が相手だから、マイ・タイムラインどおりに進行するとは限らない。あくまで行動の目安として備えよう。気象情報・避難情報などはこまめにチェック! 避難スイッチをもとに臨機応変に避難のタイミングを判断!

記入例を参考に、避難時の行動を書いてみよう。
家族構成やペットの有無などによって様々なマイ・タイムラインができあがるよ。

職場や学校にいるときに天候が急に変わる可能性もある…。
そんな時、誰がどう行動すべきか? 色々な状況を想定して備えよう!